

At home with 桐生

— お家で楽しむ桐生 —

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出のしづらさが続くなか、桐生市内の各施設ではインターネットを經由して「STAY HOME（ステイ・ホーム）」から楽しめる情報発信を行っています。



休園中の動物園の動物たち 桐生が岡動物園

通年、多くの人で賑わう桐生が岡動物園（齋藤隆浩園長）も現在は休園中。そんな園内の動物たちを収めた「休園中の動物園の動物たち」が、動画投稿サイト YouTube の桐生市公式チャンネルで配信されている。

公開されているのはライオンやカピバラ、カンガルーなど、動物園の人気者を収めた動画約 15 本。迫力溢れる姿や愛らしい表情や仕草など、柵の外からは見ることのできない動物たちを間近に楽しむことができる。

5 月にキリンの「ルリカ」が仲間入りしたばかりの動物園。ミーアキャットの赤ちゃんや羽が生えそろうない子ペンギンなど、今しか見ることのできない見所も多い。6 月 15 日からは平日のみ開園が予定されており、コロナで疲れた心を画面上の動物たちに癒されつつ予習に励みたい。

【休園中の動物園の動物たち】
HP / <http://www.city.kiryu.lg.jp/zoo/1016827/index.html>



【桐生が岡動物園】
場所 / 桐生市宮本町 3-8-13
電話 / 0277-22-4442
HP / <http://www.city.kiryu.lg.jp/zoo/index.html>



web展示室 大川美術館

桐生のまちを一望する大川美術館（田中淳館長）は臨時休館を余儀なくされるなか、「web 展示室」として SNS を通じて作品や館内外の様子を毎日発信している。

3 年ほど前から情報発信に力を入れてきた同館。コロナウイルス拡大後は、より詳細な作品解説や動画による発信など、これまで以上に館内の空気感を伝えることを大切にする。

同館学芸員は「実際に美術館の展示室で作品を体験することとはまた違った楽しみ方ができる WEB 経由の作品鑑賞ですが、再開後美術館に足を運びたくなるような情報提供を心がけています」と話す。

『逢いたいときにいつでも逢える名画の館』は、画面越しにアートの扉を開放しながら、再開への期待を膨らませる。

【web 展示室】
大川美術館 SNS で配信中



【大川美術館】
場所 / 桐生市小曾根町 3-6-9
電話 / 0277-46-3300
HP / <http://okawamuseum.jp/>



自然観察の森 自然情報 桐生自然観察の森

桐生の里山環境の保護と育成を目的に整備された桐生自然観察の森（寺澤英昭所長）は、園内の自然情報を同園ホームページで紹介している。

約 20 ヘクタールの園内に生息する多種多様な花々や草木、動物、昆虫は、それぞれが毎日のように変化を見せ、園を知り尽くしたレンジャーが最旬のトピックを写真とともに解説。自粛ムードが漂ってからは発信の頻度を上げ、自宅から自然に触れる機会を提供してくれる。

また、5 月からは庭や道端、ちょっとした空き地で見つけられる身近な生き物を紹介する「うちのまわりの自然観察」コーナーも開設した。

梅雨の季節を迎え、よりみずみずしく輝きを増す観察の森や力強く生きる動植物から、「ウィズ・コロナ」の時代を生き抜く力を感じてほしい。

※現在、ネイチャーセンターは臨時休館中。

【自然観察の森 自然情報】
HP / <http://www.city.kiryu.lg.jp/forest/shizen/index.html>

【桐生自然観察の森】
場所 / 桐生市川内町 2-902-1
電話 / 0277-65-6901
HP / <http://www.city.kiryu.lg.jp/forest/index.html>

